

Be a Manga Artist!



漫画家をめざすインドネシア人の
熊本体験ドキュメント



2019年3月28日

TKU テレビ熊本

Be a Manga Artist!

漫画家をめざすインドネシア人の熊本体験ドキュメント

1. 企画の背景
2. 事業の目的
3. 事業のコンセプト
4. 企画の可能性
5. 番組概要
6. 連動イベント
7. 成果
8. 自走化への道

企画の背景①



野球選手が米大リーグを目指し、サッカー選手が欧州リーグを目指しように、世界中のマンガ家の卵は日本を目指している。日本のマンガやアニメは世界中に広がり、その質は世界最高。しかし海外にはマンガを学べる機会や場所は少なく、質の高い指導を受ける仕組みや制度は整備されていない。

企画のキーパーソン



堀江信彦
株式会社コアミックス代表取締役社長

企画の背景②

きっかけは、コアミックス



コアミックスが主宰するサイレントマンガオーディションとは、ことばを超えたマンガ表現を、日本の編集力で磨きながら、世界をつなごうとする壮大な試み。

地元で開催されるイベント「熊本国際漫画祭」



「サイレントマンガオーディション」



企画の背景③

世界各国から多数の応募
(2017年時点)

インドネシアが最も熱い

4,984作品

3,087名

106カ国

参加国と通算応募数 (2017年秋時点)

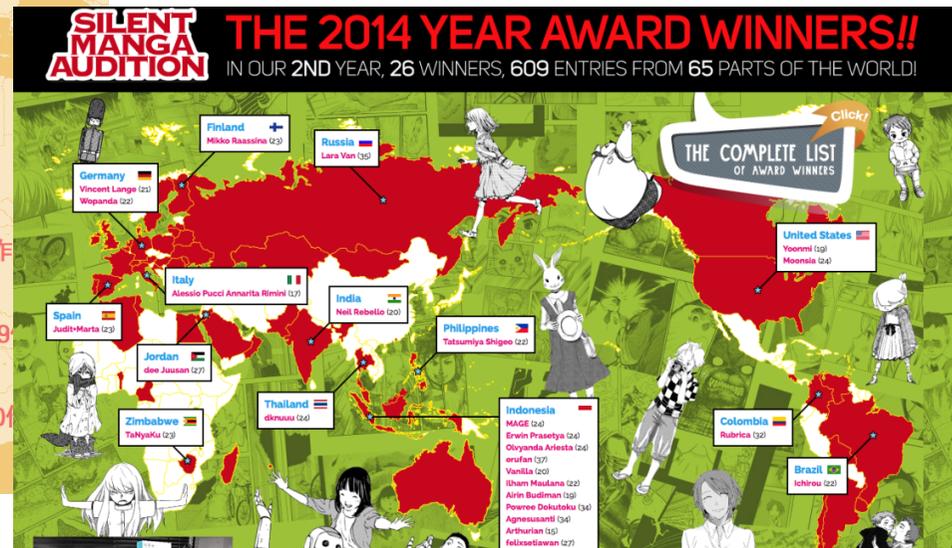
(応募数順)インドネシア(1085) / タイ(389) / ブラジル(369) / アメリカ合衆国(238) / イタリア(205) / ドイツ(198) / ロシア(188) / フィリピン(174) / フランス(166) / ベトナム(128) / マレーシア(128) / スウェーデン(75) / カナダ(69) / アルゼンチン(57) / サウジアラビア(48) / インド(46) / イギリス(44) / オーストラリア(41) / ウクライナ(40) / アルジェリア(34) / ポーランド(34) / 日本(32) / メキシコ(31) / チュニジア(28) / キリシヤ(27) / チリ(26) / アラブ首長国連邦(25) / ルーマニア(25) / コロンビア(24) / モロッコ(22) / イラク(20) / ブルネイ・ダルサラーム(20) / ポルトガル(20) / ヨルダン(20) / スウェーデン(19) / ベルギー(19) / 中華人民共和国(中国)(19) / エジプト(18) / アルバニア(18) / シンガポール(15) / リトアニア(14) / ハンガリー(12) / ボリビア多民族国(11) / トルコ(10) / ベルギー(10) / 香港(10) / オーストラリア(9) / エクアドル(8) / ジンバブエ(8) / コスタリカ(8) / オランダ(7) / シリア・アラブ共和国(7) / スイス(7) / フィンランド(7) / 台湾(7) / アイルランド(7) / ウルグアイ(6) / ペナン(6) / ベネズエラ・ボリバル共和国(6) / モンゴロ(6) / リビア(6) / イエメン(6) / チェコ(5) / パキスタン(5) / レバノン(5) / クウェート(5) / ジャマイカ(5) / キプロス(4) / セルビア(4) / デンマーク(4) / ハルギー(4) / ウズベキスタン(4) / イラン・イスラム共和国(3) / オマーン(3) / カザフスタン(3) / カメルーン(3) / スロベニア(3) / ニュージーランド(3) / モーリシャス(3) / パレスチナ(3) / 大韓民国(韓国)(2) / イスラエル(2) / カタール(2) / スーダン(2) / ネパール(2) / バーレーン(2) / グレナダ(1) / トリニダード・トバゴ(1) / ハンガリー(1) / エストニア(1) / カボン(1) / クロアチア(1) / タンザニア(1) / ハイチ(1) / パラグアイ(1) / プエルトリコ(1) / ボスニア・ヘルツェゴビナ(1) / マカオ(1) / マダガスカル(1) / モルドバ共和国(1) / ラトビア(1) / 合衆国領有小離島(1)

その中でも多くのマンガ家の卵と入賞作品を輩出しているのがインドネシア。
2013年にスタートしたオーディションで
グランプリ3名、準グランプリ5名を輩出。

各回のテーマと応募数

開催年	テーマ	参加国数/作品数
2013	第1回「ラブレター」	48カ国/514作品
2014	第2回「最高の笑顔」	63カ国/604作品
2015	第3回「お母さん」	72カ国/803作品
2015	第4回「素敵なおくりもの」	64カ国/448作品
2016	第5回「友情+コミュニケーションツール」	48カ国/602作品
2016	第6回「少年時代」	62カ国/531作品
2016	ふくしまサクラモリ「桜/恩返し+笑顔」	48カ国/216作品
2017	第7回「忘れられない味」	64カ国/608作品
2017	第8回「フェアプレイ」	59カ国/493作品
2017	熊本国際映画祭「熊本+笑顔」	37カ国/209作品

年度毎の応募数



熊本国際漫画祭&くまもとマンガCAMP



企画の背景④

地元開催のイベント
「熊本国際漫画祭」
@鶴屋百貨店(2018年9月)



開催イベントの
「くまもとマンガCAMP」
@阿蘇フォークスクール
(旧高森町立上色見小学校)



事業の目的

日本のマンガに憧れ、マンガ家をめざす海外の若者たちに焦点を当て、彼らの創作活動や日常生活を紹介する。自国の先駆者が日本マンガを追い求める姿をドキュメンタリー風に描くことで、彼らが創作するマンガコンテンツを通じて、また彼らの生きざまを通して日本マンガファン、そして日本ファンを増やす。マンガという文化の世界浸透とその力を活用したマンガ世代に向けた更なる訪日促進を目的とする。



コアミックスが運営するサイレントマンガオーディションと熊本国際漫画祭、くまもとマンガCAMPと協調し、取材や連携イベントを構築していく。



サイレントマンガオーディション初代グランプリ受賞者であるアレックス・イルザキの今とともに熊本の今をインドネシア人視聴者に向けて発信する。

事業のコンセプト

マンガ家を目指す卵たちは日本の文化を愛し自らのマンガ作品を通じて日本文化を世界に発信しようとするメッセンジャーでもある。そして彼らが創作するマンガコンテンツが今度は熊本や日本を世界に発信するコンテンツのパワーとなる。マンガという日本らしいコンテンツの力を使って、日本や日本の地方を世界中に発信する。

マンガの力で世界中の才能を日本に集め
その才能が生み出すマンガの力で日本を世界に発信する



企画の可能性

優れた作品は「サイレントマンガ in motion」に発展！

さらに実写化も！



マンガ原作の創作過程、その映像コンテンツ化の様子はテレビ番組にも良くFITする。

コンテンツのマルチユース、他国への横展開の可能性大！

番組概要①

インドネシア地上波局 NET. の「Weekend List」枠で放送

NET.



インドネシアの地上波放送局のNET.と共同制作。
NET.(News and Entertainment Television)は
娯楽番組を得意とした成長中のテレビ局。
本事業ではインドネシア国内外の旅グルメ情報を
発信するレギュラー番組「Weekend List」の
特別編として日本紹介パートとともに
「Be a Manga Artist」を放送。

- ◆番組タイトル:「Weekend List」
- ◆ジャンル:旅情報&ドキュメンタリー番組
- ◆ターゲット:20才~40才男女
- ◆放送日時:10/13、20、27(土)10:30~11:00
- ◆30分×全3話

番組概要②

【番組構成】

マンガ家の密着ドキュメントのパートとマンガ文化にちなんだ東京、熊本のローカル情報を紹介するパートに分けて、従来の番組視聴者にも違和感のない構成とする。



セグメント①

旅パート1

CM

セグメント②

旅パート2

CM

セグメント③

マンガパート1

1話30分(うち本編22分、CM8分) × 3話 制作

番組【第1話】

●取り上げた場所：

- ・熊本県(熊本市、阿蘇郡高森町)
- ・東京都(秋葉原、新宿)

「熊本駅」「熊本城」など熊本の旅情報を紹介しつつ、阿蘇郡高森町でインドネシア人漫画家と遭遇。日本のマンガの勉強に来ているアレックスだと知り、高森町のマンガCAMPに潜入。

旅パートでは郷土料理「馬刺し」を体験。また復旧工事中の「熊本城」では体験型施設「城彩苑」を紹介。加えて秋葉原、新宿の観光情報もテンポよく紹介。



番組【第2話】

●取り上げた場所:

・熊本県(阿蘇郡高森町、南小国)

旅パートで「黒川温泉」、南阿蘇での「乗馬」や郷土料理「だご汁」を堪能したあとは、インドネシア人漫画家アレックスとマンガCAMPを取材。
主催社コアミックスの堀江社長のインタビューや北条司先生と出会う緊張の一瞬を紹介。



番組【第3話】

●取り上げた場所:

・東京都(渋谷、新宿、吉祥寺)

旅パートでは「渋谷スクランブル交差点」「センター街」、新宿「ロボットレストラン」を紹介。

そして吉祥寺のコアミックスを訪問し、編集長からアドバイスをもらう。

また今回できあがったモーション動画も披露。



ダイジェスト版



連動イベント概要

- 日程:2018年10月13日(土)
- 会場:JKTシアター(ジャカルタ)

- ☞会場フォワイエにてアレックス・イルザキの作品を展示。
- ☞番組MCのJKT48PUTIが舞台上で番組のPR。
- ☞舞台大型スクリーンで番宣V上映。
- ☞アレックスの過去モーション動画作品も上映。
- ☞来場者全員にアンケート実施。



成果

●アレックスの新作マンガをモーション動画化。

熊本滞在中に高森町のマンガCAMPに思いを馳せて創作したアレックスの新作読み切りマンガからSMA映像化チームが「モーション版」動画化。独自の世界観と高森への眼差しが反映された短編映像作品が完成。

番組の最後に初お披露目した新作動画は、放送後You Tubeにて配信。
アレックスや彼の作品、そしてサイレントマンガの認知拡大に寄与している。

★「JUST MY ANOTHER LUCKY DAY in KUMAMOTO」



放送後You tubeにて「モーション版」配信



You Tube
テレビ+配信で拡散へ

モーシヨン版動画

- 今回アレックスが参加した「マンガCAMP」へのオマージュを読み切りマンガ作品として描き下ろし。そのモーシヨン版動画を製作した。



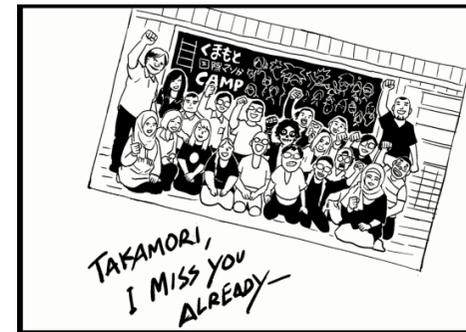
Kumamoto International Manga Camp Contribution
くまもと国際マンガCAMP 寄稿作品



Indonesia
インドネシア

Title : Just My Another Lucky Day in Kumamoto
邦題 「幸運(しあわせ)の郷 Kumamoto」

Author : Alex Irzaji
作 : アレックス・イルザキ



ダイジェスト版

Kumamoto International Manga Camp Contribution
くまもと国際マンガCAMP 寄稿作品



Indonesia
インドネシア

Title : Just My Another Lucky Day in Kumamoto
邦題 『幸運(しあわせ)の郷 Kumamoto』

Author : Alex Irzaqi
作 : アレックス・イルザキ

ファイナディングス



【感想】

- ・既存のレギュラー番組内へのマンガパートの入れ込み方がむずかしかった。
- ・インドネシア側の制作手法が新鮮だった、彼らとの関係が築けたことが良かった。

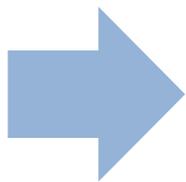
【成果】

- ・熊本国際漫画フェス主催社のコアミックスから製作協力を得た。
- ・アレックスの新作マンガをモーション動画化して配信。



【今後の可能性】

- ・コアミックス社の活動(サイレントマンガオーディション)から派生したリアルイベント(国際漫画フェス、マンガCAMP)は今後も熊本で開催されるので、自社で関わっていくべきコンテンツの素ができた。



マンガ→モーション動画→アニメという
コンテンツ展開に関わるチャンス。
マンガを世界に広めようとするコアミックス堀江
社長との出会いは大きな財産。



自走化の可能性①

- サイレントマンガオーディションの応募・受賞実績の多い国を対象に横展開。
次のターゲット国やマンガ家の卵の候補はたくさんある！

「Be a Manga Artist!」継続的、横展開に向けて

サイレントマンガオーディション上位受賞作家
dee Juusan デイー・ジュウサン

出身：ヨルダン
年齢：31
性別：女性

マスタークラス1期生

受賞歴・代表作：
SMA 第2回 優秀賞『笑顔をつくろう』
SMA 第1回 単グランプリ『純粋な愛』
など



サイレントマンガオーディション上位受賞作家
Ichirou イチロウ

出身：ブラジル
年齢：25
性別：男性

マスタークラス1期生

受賞歴・代表作：
SMA 第8回 寄稿作品『パンブド・アップ・キックス』
SMA 第2回 グランプリ『父の贈り物』
など



サイレントマンガオーディション上位受賞作家
Dzi デイーゼッドアイ

出身：ロシア
年齢：25
性別：女性

マスタークラス候補生

受賞歴・代表作：
SMA 第7回 審査員特別賞『バイ』



自走化の可能性②

●「Be a Manga Artist!」マンガ作品とモーション版動画配信のサイクル

地上波テレビ局で放送されたことで、視聴者は日本のマンガレベルに挑戦する母国の若者の存在を知る。その作品の質が高さ、作品の力を発信したことで、日本マンガの魅力、日本の魅力をインドネシアの若者に訴えることができた。番組から生まれた新作サイレントマンガは、その「モーション版」を番組放送後にYouTubeで配信。視聴者の動画再生を促し、無名に近かったマンガ家の作品が新たな人の目に触れる機会を作った。これはコアミックスが推進する「サイレントマンガ」の認知向上にもなり、SMAに挑戦する若者の増加、熊本国際漫画祭へのインバウンド拡大、熊本復興の発信にもつながった。母国のクリエイターが創作するマンガという日本的コンテンツを通じた熊本、日本の発信はこれまでにはない新たな試みであり、現地の視聴者の心に届くメッセージとなったはずだ。





Be a Manga Artist!



ご清聴ありがとうございました。